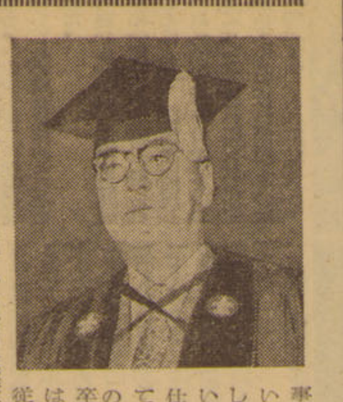
立教大學新聞
発行所
立教大学新聞学会
[illegible]
毎月廿日発行

# 神により主体的自由の獲得を

## 機械文明の支配を逃れる為に

### 総長　松（まつ）下（した）正（まさ）壽（とし）



四カ年の課程を終え今日目出度く本学を卒業される諸君に対し心から御祝いの言葉を述べたい。第一に諸君は本学を卒業する目的を以て入学されたのである。死亡、中途退学等不慮の事故に妨げられることなく無事に目的を達したことは目出度いことである。無事ということは平凡である。併し甚だ事故の多いこの人生において諸君が無事であったことは感謝すべきことであり私は諸君が将来もまた無事であることを心から御祈りする。第二に私は諸君が「基督教に基く教育を施す」本学で勉強されたことを御祝いする。我々にとって何よりも大事なことは精神の自由と人格の尊厳である。基督教は神が人を創り給うたことそして神と人とは父と子の関係にあることを教える宗教である基督教ほど精神の自由と人格の尊厳を重要視する宗教はない。私は諸君がこの尊い精神を体得されたことを祝い今後益々この精神を発揮されることを願う。第三に、私は、何よりも、諸君が何らかの仕事に就かれることを御祝いする。

卒業前の諸君の生活と卒業後の生活とを最も著しく区別するものは仕事の有無である。本年度卒業生一一七六名のうち就業希望者は八二二名、そのうち就職のすでに決定した者六九一名、その率八四％（昭和三一年・三月九日現在）である。未決定の一三一名も近く就職が決定するであろう。就職を希望しない残りの三五四名はあるいは自己で事業を営み、あるいは家業に従事し、あるいは大学院に進学し、あるいは外国に留学し、あるいは家事に従事する。進学する者と留学する者とは直ちに仕事に従事はしないが、研究が著しく専門化しているから将来の仕事が予約されているようなものである。女子卒業生のうちには直ちに家事に従事する者が多いと思う。家庭は人類社会の基礎であるから家事が重要な仕事であることはいうまでもないことである。

さて、諸君がそのような仕事に従事されることを、私は心から御祝いしているのである。何故仕事に従事することがそんなにお目出たいのであるか。富の生産が主として奴隷によってなされる時代には仕事すなわち勤労はいやしめられていた。中世にはいり階級制度が固定した時代においては職業には著しい貴賤があった。例えば金融業の如きは甚しくいやしめられたのに反し、僧侶は尊ばれた。富の生産には一切関係せず、この世に超然として神に一生を捧げる僧侶が最も尊ばれていたのである。マーチン・ルッター、ジョン・カルヴィンなどによる宗教改革はこの観念を根底から破壊し、新しい職業倫理を打ち建てた。

職業はドイツ語におけるBeruff 英語におけるCallingと観念された。すなわち職業とは神の召命と考えられた。職業とは単に人が衣食の道を得る手段ではなく、神の栄光を現わすため神から召し与えられたものである。従って仕事に精励し、仕事に成功することは神の栄光を現わすとともに自己が救われていることの確実な証拠である。この信仰が近代資本主義の精神的支柱として如何に重要な働きを演じたかはマックス・ウエーバーのすでに指摘したところで諸君はよく御存知と思う。この信仰が企業家に精神的バックボーンを与え、企業精神を旺盛ならしめるとともに、労働者に勤労意欲を与え社会の生産力を増大したことは明らかである。

私は根本においてこの信仰は正しいと思う。しかしわれわれはルッターやカルヴィンの夢想だにしなかった時代に直面している。現代を特徴づけるものは技術精神と機械文明である。従来純粋に精神の分野に属するものとされていたものすらオートメーションの進出により機械化され、物質化されようとしている。生産は人間創意の現われではなくなっている。経営方法の容赦ない合理化により労働は極めて細部に至るまで計算され、人間の価値は、彼もしくは彼女本来のものとしてではなく、その作業成果によって判断される。カントは「汝の人格及び各各の個人の人格における人間性をつねに同時に目的自体として取扱い、決して手段としてのみ取扱わないように行為せよ」と命じた。現代機械文明に於て人間は目的自体であることをやめ、手段として取扱われているのではなかろうか。若し仕事がルッターやカルヴィンの力説したように、神の召命であり、神の栄光を現わす道であるとしたら神の召命とは魂をチツ息させるものであろうか。基督教とは資本家の利益を合理化し、勤労階級を奈落の底に落すものではないか。このような疑問が社会主義を生んだ。社会主義はたとえそれ自体が唯物論を基礎とするものであっても、資本主義的唯物主義に対する人間性の反撥を契機とするものであった。マックス・ウエーバーはこの強大な資本主義機構を「運命」と観念した。併し社会主義の一応成功したソ連もまた技術精神と機械文明の国である。まさに第六次に入った連続的五カ年計画の強行によりソ連の生産力は著しく増進し資本主義諸国の脅威となっているが、それを特徴づけるものは等しく技術精神と機械文明である。一九五六年に生きる我々は資本主義たると社会主義たるとを問わず、この巨大にして運命的な機械の前に平伏しなくてはならない。この楽しい学園に巣立ち特に諸君の行こうとする社会はそのような社会である。諸君の就かれようとしている仕事は諸君が駆使する道具ではなく諸君を駆使する機械である。

にも拘らず私は諸君が仕事に就かれることを敢えて御祝いする。諸君は幸いにして過去四ケ年間「基督教に基く教育」を受けられた。意識すると、しないとに拘らず諸君は既に神に召されたのである。諸君は一個の肉の固りとしてそこに存在しているのではなく、神に創られ、神から与えられたものである。諸君はこの運命的機械文明の世界に内在し、それの制約を受けるものではあるが、超越者たる神と結びつくことにより、主体的自由を獲得することが出来る。諸君は中世の僧侶の如く世界の外へ逃避することにより超越者と結びつくことは出来ない。諸君は機械の支配するこの世界に飛びこむことにより逆に機械の世界を超越して精神の自由を得ることが出来る。というのは具体的に何を意味するか。マックス・ウエバーは、運命を直視せよ、時代の要求に従い、仕事に忠実であれ、人格とは仕事に忠実ということである、と教えているヤスパースは、自己はこの自己として今ここで生きさるを得ず決断せざるを得ない故にこそ実存的自由の主体たり得る、と教えている。

好むにせよ、好まないにせよ諸君は機械の支配を逃れることは出来ない。原子力平和利用が一層進み、オートメーションが普辺化すれば世界は一層機械化するであろう。

この運命的現実を逃避し隠者の道を歩むか。現実は諸君を追いかけ、追いつき諸君を永久に奴隷とするであろう。この運命的現実におびえニヒリズムの道を歩むか。運命の鬼は諸君をとらえて獄窓につなぐであろう。この運命的現実を憎悪し、諸君は機械文明の破壊を企てるか。敗北は初めから明かである。諸君のとるべき唯一の道は男らしい決断を以てこの運命的現実にとびこみ、そこに生きることにより実存的自由を得ることである。諸君の就かれようとする仕事は機械化された仕事である。機械化が不十分であったらそれは一層機械化されなくてはならない。諸君は機械の一部となるのだ。機械の一部となることにより魂を機械の奴隷とするか、自主的にこの運命にとびこむことにより、今、ここで、生きざるを得ざるが故に、決断を以て強く生きるかは諸君が超越者たる神を父と信じ、かく行動するか否かによって決定される。

---

## 論説　立教生の逃避性を排せ

### 卒業生諸君に望む

一在校生として、卒業生諸君へ素直に〃めでとう〃と云うことを躊躇せずにはいられない。私達にはもう将来に対する野心を野放図に抱くことは出来ないし社会が立教の大学生活のように楽しいとも思えぬからである。

卒業される人々は、未だ将来に対する希望と不安の混迷の裡にあることと思うが、学生々活を卒えて社会人となる、この重大な時期を無事乗り越えて貰いたい。

立教の学生々活を送る者の多くが感ずることは、立教に入って良かったという事である。立教大学の生活は楽しかったという事である。恐らく、卒業する人はこのことを人一倍感じていることだろう。

また、大学で多くの親友を得た人が多い。このような点で、本学は他大学に見られぬ特色を持つ。この立教の家族的雰囲気ということは立教の誇り得るものの一つであろう。人はその友達でわかるという。人格の陶冶を目ざす本学の目的はこの点で成功したと言いえよう。大学に生活するうちに受けたこのような恩恵を思い感謝しなければならない。このことが、社会を出てからも、学校を愛す気持となるのである。

現代のような不安な時代において、自分の送った生活を肯定出来ることは或る意味で非常な幸福と言える。しかし、手放しで立教生活を肯定出来ないのは勿論である。立教生のことを一般に、立教ボーイとか、立教のことを坊ちゃん学校とか言う。楽しい学生々活だったと云う陰に、何か安易に逃れて来たと云うことが隠されているのではないだろうか。このような点を充分に反省する必要があるように思える。

何故なら、多種多様な人の集りである社会では、立教の生活とは違って、抵抗や障害にも進んでぶつからねばならなくなるからである。過去の安易な点をのみ顧みることなく、立教生特有の逃避的な性質をこの際大いに反省すべきであろう

卒業生諸君が大学に入学した年は、サンフランシスコ条約が発効し、日本が自主独立した年であった。その後、国内では、破防法、再軍備の推進など滔々たる逆コース現象が現われ、今日に到っているが、対外的には依然、非独立的な態度をとっている。また、日本の安全が米、ソの思惑にかかっているという不安も否定できない。このような時、大衆卒業生は重大な使命を課せられているといってよい。すなわち、社会の中堅として、日本を担っていかねばならないからである。

あなたがたは、大学でいろいろな学問を学んだ。しかし、この学問が直接、社会に当てはまったり役に立つとは思われない。また、大学生の勉強が真理を探究しているとも思われない。学問上からいえば、大学で受けた知識は、ほんの初歩的なことであり、入門的知識であるからである。このような意味から大学の四年間は短かすぎるともいえるが、学問で得たものは学問の知識だけでないのを考えてみる必要がある。すなわち、学問することによって得られた思考方法である。すなわち、学問的思考なのである。物事を考える場合に、学問を受けた者の考えかた、観かたというものがあるはずである。諸君はこのことによって、事物の本質を素速く判断し、健全な社会を構成する一員とならねばならないのである。

大学で過した四年間を顧みて、諸君は何を感じているのだろうか。諸君等は二十年ぶりの優勝を味うことが出来たし、それぞれ、クラブ活動、ゼミナールなどに思い出も深いことであろう。過ぎ去った時間は楽しければ楽しいほど短く感ぜられるものである。

一方、諸君の周囲から卒業を待たずに学校を去った人を、想い出すことが出来よう。健康を害して休養している友達、家庭における経済的事情から、共に勉学を続けられなくなった人々がいるのである。諸君が無事卒業出来たのは、恵まれている環境にあったからと言うことが出来るのである。そのことを忘れないで、感謝し、それに充分報いて貰いたい。

卒業生諸君の健闘を祈る。

---

## B・グラハム博士本学で講演

去る二月二十、二十一、二十二の三日間にわたり、アメリカの生んだ世界的キリスト教伝導者ビリー・グラハム博士が、本学タッカー・ホールにおいて全国のキリスト教会関係者を集め講演した。この集会はタッカー・ホール始まって以来の盛況で二十一日だけでも三千人をこえた。ビリーグラハム博士はロンドンで十二万人、ベルリンで八万人を集めて伝導したことで世界を驚かせている話題の宣教師。インド伝導の帰途来日中のものである。

## アルフォース氏本学で講演

アメリカの有名な数学者、ハーヴァード大学教授アルフォース氏は、去る三月九日本学において「リーマン面への直交射影」と題する講演を行った。

---

## 「なぜ」ということ

### ―卒業の諸君へO・Bから―

学園時評　藤田寛治

皆様お目出度う。永い永い人生航路が、今やあなたの前に繰り拡げられようとしています。あなたはこの航路をどんな航海方法をとって進むか、それは、あなたの名前のついた〇〇丸の船長であるあなたの胸一つにかかっていると申せましょう。大いに考えて頂きたいところです。と申しましても、何も、私は知ったかぶりで説教を致すつもりは毛頭ございません少しく航路の先を走っているに過ぎないのですから一しょに考えるということにいたしましょう。

〃運動蹂発〃という言葉があるのをご存知でしょうか。試行錯誤の行き方と申しましょうか——いわゆる、行き当りバッタリ式のことをいいます。

船出にあたって先ず申したい事は、この行き当りバッタリ式をやらない様に十分に心に刻み込もうと言う事です。そんな事は判りきった事で、何も今更こと新しく聞きたくないとおっしゃるかも知れませんが、ちょっとおまち下さい。平凡な事ほど、人生では忘れがちになることは、あなたも経験がありましょう。

何事にも先ず計画が必要です。計画が十二分に出来ておれば、それを実施するに当って非常に楽になりますし、結果の検討も殆ど不要になりましょう。之は大きな事業の計画にも、小さくは日常の生活行動にもあてはまることと思います。行き当りバッタリ式になるなと言うのはこのことなのですが、案外おろそかになって、無計画に実施の段階に突入して、テンヤワンヤの大さわぎを行う事はよくある事ではないでしょうか。

あなたの〇〇丸の船出に当ってこのことを常に思い出して頂きたいと思うのです。私なんかも、御多聞にもれません。よくテンヤワンヤの大さわぎを演じますが、いつも反省を繰り返している次第です。

もの事の計画的処理——之を常に心掛けましょう。

それには、先ず、「なぜ」を充分心得たいと思います。なぜこれをしなければならぬのか、なぜ自分はこうしようと思っているのかなぜこうなったか、なぜ彼は彼女はこんな事をするのか等々、「なぜ」を十分駆使しましょう。

「なぜ」を心得て居る人は人の長となり得る。

「なぜ」は常に「どの様に」に先行する「なぜ」を知る唯一の道はよく考える事である。

人間は考える葦だと申します。一つ大いに思索しようではありませんか。（筆者＝ふじた・かんじ、山一証券常務取締役、昭和8年商科卒）

---

## 一事一事に最善を

経済学部長　河西太一郎

いわゆる螢雪の功空しからず諸君がここに芽出度く卒業の日を迎えられるに至ったことは誠に御同慶の至りであり、心からお祝いを申し上げる。

諸君の在学四年間は、国家的にも国際的にも依然として多事多端ではあったけれども、わが国民経済が終戦後の混沌状態からはやや立ち直りを示してきた時期であっただけに、以前の卒業生諸君よりは落着いて勉強も出来、またより充実した学生生活を楽しむことも出来た筈であり、かくして健全な心身を持ちしっかりした人生観、社会観の基礎ずけをし希望と自信を抱いて輝々しく社会に船出するに至った諸君の前途に私は期待を寄せると共に、幸多かれと祈らざるを得ないのである。

諸君の前に今後展開される社会生活は、学生々活のように楽しいものではなく、むしろ険しいものである。その険難の道を切り開いて結局は立派な充実した人生を築き上げ、更にそれを通じて社会、国家の進運に貢献しなければならぬ。かくして諸君に輝やかしい将来を約束するものは、人生および社会に対する正しい心構えと誠実なる努力の外にはないであろう。一事一事にベストを盡すこと、毎日毎日を真剣に生き抜くこと、これが何より大切であろう。

顧って世界の情勢を見るに、今日の世界は大きな転換期に当面しているように思われる。即ち産業界においては原子力の平和利用やオートメーションが急速度に発展せんとする形勢にあり、国際的には二つの世界の間の平和的共存と競争が本格的に展開されんとする情勢を呈しているが、この両者は共に今後の世界文明の発展に対し、人類生活の将来に対して至大の影響を与えるものであることは毛頭疑いない。この間に処して世界の進運に後れをとらぬよう祖国日本を再建し、文字通りの平和的文化国家をこの国土に実現する任務は正に諸君等中堅青壮層の双肩に掛っていることを諸君は自覚し、その自覚の下に諸君の日常の業務に精励してもらいたいのである。

諸君の任重く道遠し。切に諸君の自重、自愛、自奮を祈って止まない次第である。では新卒業生諸君お元気で！　さようなら

---

## 学問の精神を活用せよ

文学部長代理　中川一郎

まずもって諸君の御卒業を心からお祝い申上げます。

諸君は大学生活を通じて「教育は人生のため、人生は奉仕のため」——ということを学ばれたことと思います。

人生の準備として教育を大学教育に至るまで受けられた諸君は数多い同年の同胞の中にあって誠に恵まれた人達であるといわねばなりません。しかも、その大学教育を立教で受けられたことは、諸君にとって誠に意義重大なものがあると思います。

卒業ということは、業を終るということでなく、新しい業を始めるという意味であります。人生のための準備を一応終ってこれから実社会での奉仕の生活へ入ることになる訳ですが、社会生活の毎日毎日が勉強の連続であるという意味において新しい業がこれから始まるわけです

社会生活を通して、社会に有意義な奉仕をすることが、これからの諸君の業であり、生活であります。大学において学ばれた学問の精神を充分に活用して新しい業を開始していただきたいと切に望みます。

諸君は一般教育の分野に於て広い教養を先ず身につけ、更に夫々専門の分野の学問を学ばれて目出度く大学卒業の栄誉を得られた。諸君が今後進まれる社会生活の分野が諸君の修めた専門知識をその侭生かすことと一見何の関係が無い様に思われる場合に於ても、諸君の学ばれた学問の根本精神は必ず実際的にも大いに役立つことと私は確信して居ります。

実社会の生活には、何と言っても健康が第一條件ですから、充分にその点に留意されて、社会の各方面に於て充分に活躍していただきたい。

立教は諸君の終生の母校であり、諸君の今後の心の憩いの場であります。立教の名声は諸君の実社会に於ける努力に比例して上ってゆくのです。

諸君の今後の御健闘と御健康を心から祈るとともに、諸君が今後同窓として母校立教発展のためにも御盡力下さるよう切望して、諸君を送る言葉と致します。

重ねて諸君の御卒業を御祝い申上げます。

おことわり◇理学部長中川重雄教授は多忙のため執筆不能でした。　編集部

---

## 松下総長四月に渡米

### 原子炉問題進展するか

昨年十月ごろより問題となっていた米国聖公会の原子炉寄贈に関して昨年十一月松下総長は今春渡米の意向を明らかにしていたが、この程四月八日ごろから約一カ月間の予定で渡米の計画が具体化したこれについて松下総長は、米国各大学の視察および米聖公会主脳と会見、総長就任の挨拶が主目的であるとしているが、当然米国聖公会からの原子炉寄贈問題にも、何らかの進展があるものと期待されている。

---

## 綜合グランド　敷地に遺跡発見

### 日、早、東大などと共同調査

昨年十一月鍬入式を行い現在上板橋に建設中の本学院綜合グランドの敷地から、土器、住居址等多数の考古学上貴重な遺跡遺物（写真）が発見され関係方面の関心を集めた。グランド中の敷地に決定された所は栗原台地と呼ばれ考古学上有名なところで、日大等の注目するところであったが、遺跡の存在を知らずに工事を始めた学校側への

郷土史家からの連絡で直ちに本学文学部史学科が活動を開始し宮本教授、中川講師、日本考古学会員平井氏を中心に学生多数の協力のもとに発掘が進められた、発掘に際しては立教のほか日大、早大、東大の参加もあり、松下総長も現場に見えて発掘中の学生の労をね[illegible]

---

## 七百名を突破

### 就職　もう一息の追い込み

三月十二日現在の人事課の調査によれば、本学の就職決定者は七百二十名で、昨年の同期よりはややよい模様。進学する者、家業に従事する者をのぞく就職希望者数は明らかでないが、八百名前後と推定しても、就職率は九割近いことになるので、残りのものもここ一二ケ月中に決るものと人事課では見ている。なお、人事課では来年度の四年生に対し、今年五月から就職準備を開始する予定のため、学生の人事課への協力を要望するとともに、注意を喚起している。

三月十三日現在の就職状況は次の通り。（前号既報のものは省略しましたが、一部重複するものもあります。数字は決定者数、一名の場合は会社名のみ）

【案内業・ホテル・旅館】奈良交通、淡々園、国鉄観光社、東海観光

【海運業】東洋商事海運、極東運輸KK、製鉄原料輸送KK、鶴丸汽船、南海航空、東急航空、東京航空ターミナル

【化学、製薬、諸化学】科研薬販売3、協和醗酵工業、オリジナル薬粧4、ポーラ化成工業2、ハリウッドKK、株式会社東亜理化工薬所、アメリカン・ドラグ・コーポレーション・ドラグ・コーポレーション3、小池酸素工業協和化学研究所、森本物産、大正製薬、エスエス製薬

【ガス】四国ガスKK

【証券】角丸証券、玉塚証券、証券代行KK

【新聞】中部日本新聞、朝日新聞、新潟日報社、中国新聞社、栃木新聞社、株式新聞社

【出版】博報堂、山崎印刷、商業界、日本洋書配給販売、赤心社書店、ひかりのくに出版

【印刷】アジア証券印刷、東洋印刷KK、東亜輪転印刷

【銀行】山口相互銀行、駿河銀行、岐阜銀行

【金融】住宅金融公庫、三協金融、安全信用組合、第三信用組合、横須賀信用、東京信用、庶民信用

【興行】東宝4、大映スターズ、第三御幸映画劇場、文化興業KK、大映、旗興行、大野興行2

【教育関係】文化服装学院2、武蔵野学園小学校、駒込学園、山口県立高校、鎌倉白百合女学院

【鉄鋼】日本鉄板KK2、八丁堀鋼材、大練鋼業、石川鉄工所、東京シヤリング、泰東製鋼、岩崎鋼管、その他5

【車輌部品】山口自転車3、三協日野ルノー3、ブラザーモータース、相互自動車KK、セントラル自動車、群馬日産自動車、その他2

【ゴム】松竹ゴム、信川ゴム

【製作】昭和工業、栗田工業、トンボ鉛筆、森田医療品KK、スター製作所、大栄工業KK、電気音響研究所、ヒカリ興業製作所2、山武計器、電機塗装機、日本原料早川管工業、山田ダンボール2、東京鐘工業、昭和製器工業、那須電気鉄工、七成工業、東海興業、イチミツイス工業、共同プレス、栗木工業、その他3

【貿易・商事】米井商店2、斎藤商事、富士洋紙2、守谷商会、三幸社、香和商事、新野村貿易、恵谷商会、小玉商事、服部紙店、伊藤忠商事、ガデリウス貿易、山発商店、松崎商会、日活アーケード・エクスプレス、中央青果、日新商事、佐藤商店、山陽商事、三ツ矢商事、ミリオン商事、三栄商会日本ポリドール、東洋通商、井上商店、南商事、西村貿易

【醸造】養命酒本舗、その他3

【水産】中村水産KK

【繊維・紡績】興服産業、敦賀織物、東洋レーヨン、その他12

【石炭】北海道炭鉱2、日本炭鉱KK、その他4

【食品】篠崎製菓、共同乳業3、九州製菓2、株式会社中村屋、三エス商会、エスビー食品、塩水港精糖、東洋精糖、ブルドック食品

【製紙】大永紙工、高崎製紙、その他3

【セメント】朝日石綿工業、新日[illegible]

---

## 山岳部遭難す

去る九日朝八時二十分ごろ北アルプス前穂高岳北尾根八峰に第二キャンプを設けるため、尾根を荷揚げ中の本学山岳部の山野井武夫君（経三）浅古君（経二）馬淵君（文二）平井君（経二）富代君（文一）の一行は雪崩に巻きこまれて約千米おし流された。馬淵君ら四名は打撲傷を負ったが助かり、浅古昌宏君は行方不明。浅古君の捜索には十一日、O・Bの杉山、関の両[illegible]

## 経済学部の倍率落つ

### 今年の入試状況

[illegible]

---

コーヒーと音楽
サブリナ

神田の学生服まつり
倉敷ビニロン学生服
提供・文部省・通産省
後援・倉敷レイヨン株式会社
後援・千代田区役所
3月15日—4月8日
学生服は専門の神田洋服街へ
主催・神田既製服小売商組合

ご入学おめでとう
セーラー万年筆
学生用

## 研数の受験講座

本校の特色
本校の施設
交通
◇大学受験科
綜合科
単科
◇大学医学部受験科
◇高校・中学基本科
◇日曜講習
大学受験料
高校基本科
春季学期
研数学館
東京都千代田区西神田二ノ三

## 定期購読者募集

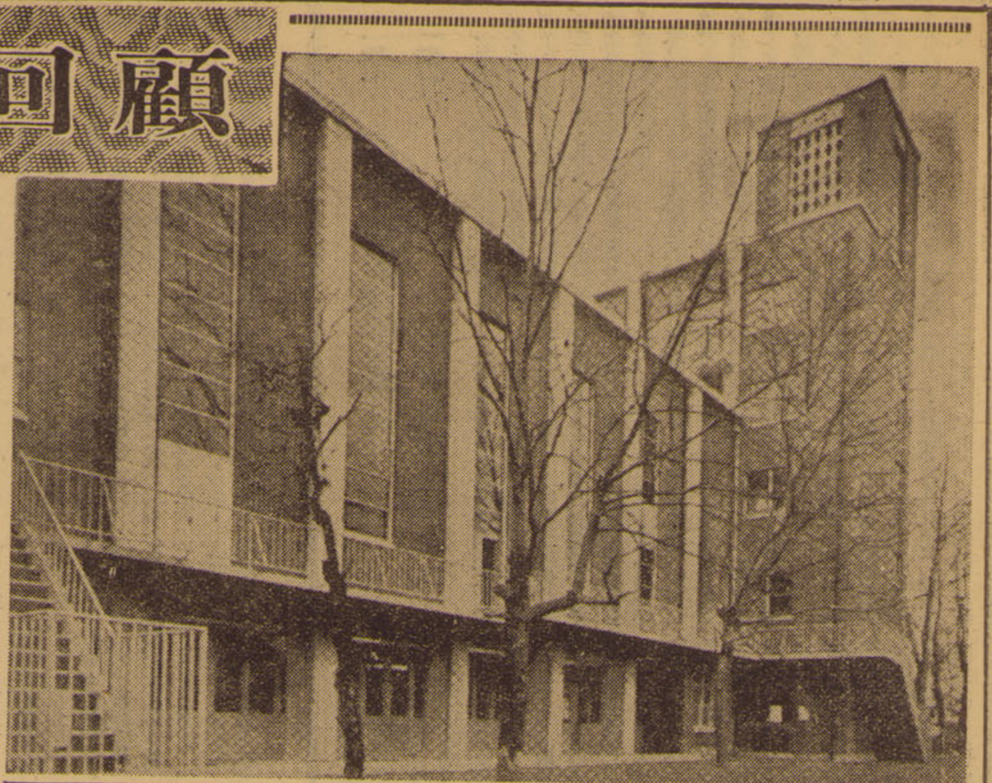
卒業生の皆様御卒業おめでとうございます。本学会ではただ今、定期購読者を募集致して居ります。卒業後、本学の動きを知る為に学園の学術、文化、スポーツ、その他あらゆる分野のニュースを盛る本紙を御購読下さい。

原則として毎月二回発行
一年分二百円（送料共）

申込書
住所
氏名
立教大学新聞　年分を購読致しますから購読料　円を添えて申込みます
立教大学新聞学会総務部御中

# 立教　四年間の回顧

四年間の大学生活は卒業してからも楽しい思い出として、諸君らは折にふれて語りあうことだろう。諸君が大學に入つてから卒業するまで大學がどんなような変遷を遂げたか、ここに再現し諸君の卒業へのはなむけとする。



## 九代総長に松下氏

### 佐々木氏の後を継いで

—30年度—

佐々木前総長

夏休みに入つて二、三日した日の夕刊に本学の新総長に松下正寿氏が就任したことが報ぜられた。佐々木前総長の三選が予想されていただけに、学内学外は意外と驚きの念に打たれた。

佐々木順三氏は昭和廿一年に前任の三辺金蔵氏の後を継いで、英国国教である聖公会の「教会歴」のわが国における唯一の権威者として就任し熱心なキリスト教信者として活躍、戦後の混乱期における立教学院を再建した。任期四年でその間再選され当時に至つた。

六月の末、ライフスナイダー記念館で次期総長に関する理事会が開かれたが席上八代斌助氏が理事長に再選された。ついで、総長選出に移つたが、これよりさき佐々木前総長は「立教はここに漸く基礎ができた。再建という使命を私は全うしたと思う。今後はこの基礎の上に立つて識見豊かな活動力のある人が立教を背負つて立つべきだ。私はこういう理由から老骨に鞭打つてまで次期総長を買つて出るべきではない。」と勇退の決意を示した。理事会では適当な候補者もなく、理事長は選出方法について各理事にはかつたところ、全員慎重協議の結果、理事長八代氏が松下氏を推薦、満場一致で承認され、ここに松下第九代総長が誕生した。

松下氏は本学の商科出身であり、後に米国に留学、コロンビア大学等に学び、帰国後本学教授を勤めたことがある。氏はまた国際法の権威として知られ、先の極東軍事裁判においては清瀬一郎氏と共に東條英機等の弁護に当り、五・一五事件から開戦までの日本歴史の整理に活躍した人である。

就任早々砂押前立大野球部監督の就任問題や、本学に設置されるという噂のある原子炉の問題と取組み大活躍を演じている。また文化祭には学生と手を取つてフオークダンスに打ち興ずる人である。

## タッカーホール落成

### 全國有数の設備

—29年度—

二十九年度には大学院・講堂がというよりタッカーホールが落成した。従来、本学には大人数を収容する講堂というものがなく、せいぜい大きいもので四〇一番教室くらいなものであつた。そのためさまざまの活動の障害となつていた。二十年前、六十周年式典の時、大きな講堂の建設ということを決議したが二十年間わずか理学部校舎、それに少数の校舎が増築されただけで、ここに各方面よりその完成を待たれていた講堂がテニス、およびバレーコート跡に落成した。二十八年十二月着工以来、一カ年を費し、二十九年十二月、八十周年式典を兼ねてその落成式が盛大に行われた。総工費一億七千万円、延坪数一一四八坪、建物は鉄筋コンクリート五階建ての堂々たるもので、話題の講堂は二階、三階をぶち抜いて建てられ合計一五〇〇名強の座席がすえ付けられ、一階には教授室、研究室会議室、応接室、教務課等の部屋がある。

なお、各部屋および講堂には螢光燈、暖冷房装置が完備され全国有数の設備を有している。タッカーホールと命名された由来は本学発展の貢献者がタッカー氏であると考えたからである。というのは本学の総理であつたタッカー氏は築地の校舎が今後の発展のために狭過ぎると思い、池袋の土地に文字通りの総合大学としての校舎を建築、本学発展の因をなしたからである。タッカーホールとともに本学宗教活動に最も必要な施設であるクリスチャンハウスも落成した。これで立教大学も文字通り総合大学の名にふさわしいものとなつたわけで赤煉瓦の堂々たる大講堂の美観は、時計台とともに学園を去る諸君の忘れ得ぬ立教の印象となることであろう。

## 野球部　廿年ぶりの優勝

### 夜の池袋を提灯行列

—28年度—

二十八年六月、春の六大学リーグ戦に野球部の廿年ぶりの優勝を味うことが出来た。

小島投手の快投をもとに疾風迅来の勢いで早慶を連破した立大は中盤戦にやや疲れ法大に思わぬ苦杯を喫し、また明大にも苦しめられたが決勝でこれを破り、東大をなんなく撃破し、完全優勝は成らなかつたが、まず以て文句ない優勝ぶりであつた。

立大野球部の練習のはげしいことは周知のとおりであるが、春のそれはいままでにない激烈なものであつだ。野球一途の情熱に燃える砂押監督の叱咤は東長崎に間断なくとんだ。ひとたびグラウンドに足を踏み入れたら一瞬の淀みもなく練習がつづけられ技と力が養われていつた。この中でトツプ重合からラスト伊藤に至るまでのクリーン・システムそして古田、伊藤の比をみない併殺コンビ、また小島の快速球が生れた。小島の快速球は制球力のマスターにより一段と威力を増し、早慶の四試合を通じて三十六イニング自責点なしの快記録を生んで「プロ以上」と噂された。ことに対早大二回戦における球威は石井に内野安打を一本許して惜しくもパーフエクト・ゲームを逸したほどであつた。

このように砂押監督を中心としての凄まじい闘志と団結が昭和八年辻(現監督)、菊谷両投手を擁して覇権獲得以来実に廿年ぶりの快挙をもたらしたのである。

伊藤の早立一回戦九回裏における劇的本盗、法大渡辺投手のボーク問題、首位打者となつた東大堺一塁手の活躍等忘れえぬ思い出である。

一方立教優勝の可能性が段々と濃くなるにつれその真偽の程は別として、いろいろな噂がとんだのも面白かつた。例えば優勝すると学校が一週間休みになるという話を某教授がしたとかしないとか。また校庭の真ん中にビヤダルを据えて飲み放題だなんて涎れの出そうな罪のないのもあつた。

六月六日、天皇杯が本学の頭上に輝いた日、池袋は立教色に塗りつぶされた。

閉会式が終るや選手達は応援団の車を先頭にテープに彩られたバスに分乗しフアンのどよめく池袋に到着、観衆の嵐に迎えられながら大学へと向いチヤペルで敬虔な感謝の祈りを捧げ終つていよいよ花火打上げる中を学生、地元フアンの大提灯行列に移つた。この日参加した学生はザツト一万、戦後稀に見る豪華絢爛な大歓迎絵巻であつた。手に手に提灯をもち校歌、応援歌を合唱し校門から東長崎の合宿まで、さらに地元フアンの歓呼と興奮のさめやらぬ中を立大構内へと行進した。

一方池袋では学生無料の酒場まで現われ、勝利に酔い知れた立教ボーイの歓声は深更までおよんだ。

## 学園に破防法旋風起る

### 学内有志が反対声明

—27年度—

諸君が紫の立大の帽章をつけたのは二十七年、サンフランシスコ條約が正式に発効された年である。

講和発効のその日閑散な国会に唯一つ法務委員会はその機能を果しつつあつた〃独立国〃日本の筋金るたべく「破防法」の審議が急がれていたのである。暴力主義活動を取締るという名目の下に憲法に保障されている基本的人権をたやすく踏みにじつてしまうような悪法として労働階級はもとより知識人、学生等広く反対したが、本学においてもこのような情勢下にあつて遅ればせながらも反対の動きが見られるようになつた。まず経済学部教授会の有志によつて学問、思想研究の自由に重大な障害を与えるものとして反対決議が行われたのを始めとし、一方学生側にあつても社研の反対声明を始め宇治田、立入、神野のゼミナールにおいて破防法に関する討議の結論として、反対の決議がなされ、徐々にではあるが様々の制約に耐え学内の与論を喚起していつた。次いで六月廿七日経済学部三年全学生によつてなさせた破防法反対の決議とそれに伴う声明は確かに本学における破防法反対の一つの頂点となつた。それは全く自発的に学生の中から盛り上つたという点、自治意識の低いといわれる本学における画期的現象であつた。

## カレッジライフの想い出

### 印象に残る〃野球優勝〃

経済四　宇梶鐃

喫煙や飲酒問題が極端にやかましい高校に育つた私にとつて入学して一番驚いたのは総長が喫煙している姿だつた。高校では礼拝や聖書の時間にかかる行為はキリスト教にはあるまじきことだと教え込まれていたためだろう。こんなことよりもクラス制、出席制、時間割制のほうが当時は驚いた筈なのだが今では総長の喫煙のほうが強く印象に残つているのだから奇妙なものである。

立教では入学試験の時、試験科目中に数学がなかつたのでホツとしたのだがそれも束の間、一年の時間割に「数学」があるではないか。しかも「解析II」ときているから、たまつたものではない。正直な話が月曜日の第一時限の数学の時間は憂鬱で仕方なかつた。

大学生活中最も印象に残つたことは何かと問はれるとそれは学問上のことではなく直ぐ〃六大学野球の優勝〃と答えるんだから恐れ入つてしまう。想い出せば、昭和二十八年春の早立一回戦、九回裏における伊藤の劇的本盗、小島の快腕、それが因となつて二十年振りの優勝。野球部合宿所へ通ずる田圃の中の細道を延々と続いた〃赤い灯〃の列。まことに印象的な光景だつた。今度はいつ再びあの提灯行列を再現してくれるだろうか。

裏銀椀の麓で、山中湖の湖畔で同じ釜のめしを突き合いながらサークルのあり方について長時間にわたり語り合うということは学生ならではのことであろう。このような話し合い[illegible]になつて〃立大野球[illegible]りの優勝〃〃タッカ[illegible]成〃〃総長改選〃と[illegible]ニュースになつて現[illegible]のだから楽しさと共[illegible]の重大さも感ずるの[illegible]もあれ卒業した。想[illegible]それのみに盡きるこ[illegible]となりこれからの糧[illegible]を欲したい。学問の[illegible]なかつた。クラブ活[illegible]過ぎた。その反面、対[illegible]会関係の視野が少し[illegible]ように思う。否、そ[illegible]りもキリスト教の視[illegible]教育第一主義の立教[illegible]たということが何よ[illegible]襟だつた。

### 楽しかつたグリーの生活

経営四　久世和子

経済学六十人もの級友中、たつた一人の女の子として始めは大分淋しい思いをしたけれど、半年も経てば好奇の眼も消えて、以後四年間互に睦み励まし合う多くの学友を得る事が出来たのは、大学生活の賜物であろう。

学問の方では自分の不勉強に淡い後悔を感じる位だが、運動の機会の少なかつた事は何としても残念であつた。体育実技ではバレーをしたが、女の私でさえ受ける球でも、頭を抱えて逃げた男子学生が一緒だつたのに意を強くした事がある。誰でも気軽に放課後各種のスポーツに熱中できる組織を作るのが私達の最初の夢だつたが、遂にこれは果せなかつた。

運動に向けられなかつた余力を、私はクラブ活動の方に注ぎ込んだ。大学での四年間は、その殆クラブ生活の四年間であり部室で過した時間は恐らく教場における時間の倍以上になつているだろう。好きというだけが取柄でコーラスを選んだ。女子部員の少い頃は、伝統ある男声合唱の前に、何かと肩身の狭い事もあつたが良き上級生の献身的な努力と男子部員の暖かい励ましによつて、やつと一人歩きの出来るところに来ている。

この間、辛い事、悲しい事も沢山あつたけれど、いずれも今となつては楽しい思い出となつてしまつた。合宿、演奏会等は特に精神的にも肉体的にも辛い事が数々ある。それでも過ぎてしまうと楽しかつた事、嬉しかつた事のみ思い出されて、指揮者に叱られた事とか上級生にたつぷりしぼられた事とか[illegible]為に翌日の予習が出[illegible]て恥をかいた事など[illegible]忘れてしまう。

何といつてもグリーの生活で一番楽しい事は、皆の気持が一つになつて素晴しい演奏をすることにある。三年生の秋のコンクールで歌つた黒人霊歌の味は忘れられないものの一つであろう。又、混声合唱の初出場は二年の時であつたが、あの感激も嬉しい思い出の一つである。

私にとつて立教に学んだ四年間は、全く悔いの無いものであり、これ程の楽しい貴重な経験を最後の学生生活に於いて味う事が出来たのは本当に嬉しい。いつ迄も、立教の精神で培われたものを、生活の中に活かして行こうと心から願つている。

## 日本文学科の新設

### —31年度— 比較文学に特色示す

三十年も押しつまつた十二月、日本文学科が正式に認可され、本学では三十一年度から学生募集を行つた。その特色は、次の五点である。即ち(一)もつぱら広き視野と世界的な観点に立つて日本文学を鑑賞研究するために、古典の研究に意をそそぐ。(二)国語研究を重視する。(三)明治大正文学研究に関しては、近代作家の多くが外国文学影響下にある事実にかんがみ広く比較文学の研究方法を採りいれ、英、米、ドイツ、フランス文学専攻者で早くから日本文学を研究している権威者を招いてその指導を信頼した。この方法は新しい日本文学科のありかたとして広く一つの示唆を与えるものと思われている。(四)講座中の「作家研究」ではその前身に卓越せる研究を発表した一ないし、数氏を招いてその成果を講義して貰う予定でいる。(五)教授陣には、池田亀鑑、矢野禾積、麻生磯次、時枝誠記、塩田良平、島田謹二、福田清人、佐藤進一、宇野義方などの諸氏を招んだ初年度の日本文学科長に、準備委員長番匠谷教授が就任し、金子教授、長野教授らがそれに協力する三十一年度の日本文学科には多数の学生が押しよせ、将来の発展が約束されている。

## 1952—5年小史

二十七年、折から日本を騒がせていた破防法に対して、六月六日、経済学部教授会有志の名において破防法反対声明が行われた。学生側においても社研の反対声明を初めとして、宇治田、立入、神野のゼミナールおよび経済学部級会がこれに続いた。

五月には現書籍部の前にあるモルタル造りの校舎が新築され、診療所脇の文化会館が作られた。このころから学院の充実が急がれるようになり。学院では立教学院債を発行してその資金を集めることを始めた。

この夏から一年越しに続いた問題に文化会館がある。五月に作られたことによつて、研究室に同居していた文化部も専用の部室を持つことになつた。これに対して体育会から文化会だけが使用するのは不平等だと申し入れたのである。結局、文化会の文化会館設立の努力を認め、体育会にはグランドの建設を急ぐということで悶着は解決した。

スポーツではアメリカン・フットボールが東西大学の王座を決定する「第七回甲子園ボウル」で優勝。ハンドボールが第四回全日本に優勝。バスケットが全日本で早大を55—35と破り、初の栄冠を獲得。以後黄金時代に突入した。

この年の就職に学制改革に伴う大量卒業で競争が激しくなり、殊に本学理学部では初めて卒業生を送りだすというハンディキャップにより大いに苦しんだ。日経連が「赤い学生お断り」の声明を出したのもこの年である。

二十八年の四月には経済学部四年の級委員選考に立候補制が採られついで経済学部三年もこれにならう。

この頃、各大学では大学院設置にのりだし、本学でも博士課程として五月に英米文学研究科が開講し翌年三月に経済学研究科にも博士課程が認可された。

六月二日、春の六大学リーグ戦に野球部が昭和八年以来二十年ぶりの優勝をした。この夜の池袋は立大生の提灯行列で初まつて以来の大騒ぎであつた。

八月、実質的に学生の選挙権を奪う自治庁通達が出された。本学では全学連に加盟していないので実力行動はとらなかつたが、本紙の調査では62%の学生が反対し、大いに関心を持つていることを示していた。

十月二十日には私学の荒廃を訴えて、自治と民主化の確立をはかるため全国私学復興協議会が開かれ本学に中央事務局が設置された。つづいて、学園の荒廃を叫ぶ声は全国的なものとなり、十一月京都において全国学園復興会議がもたれた。この時、学生と警官隊の衝突があり、本学の学生も警官隊に暴行を加えられる事件が起きた。

二十九年に入つて、三月の入学試験は物すごい競争率を示し、経済学科が十八・七倍となつた。浪人の受験が目立つようになつたのもこの年からである。

大量入学の影響は経済学部のゼミナールに現れた。即ち、ゼミナールを希望する学生は定員の五倍を数え、入学試験みたいなどとの不満が起り、ゼミの増設が叫ばれるようになつたのは二十九年のことである恒例五月に行われる立教祭が準備側における企画日程に障害があつて、中止された。それ以後、引続き本年に到るも開催されてない。九月に入いると、就職戦線も特需の中止、外国貿易の不振、更に一年にも及ぶ強硬なデフレ政策などの悪條件で青息吐息となり、一千人に及ぶ四年生を抱えて、人事課でも職種別懇談会を開くなど就職対策に忙しくなつた。

十月、原水爆反対の署名運動が三年の手で始まり、武谷、田島、村地三教授の原水爆講演会をもつなど、ビキニの死の灰によつて原水爆反対動運が大いに高まつた。

秋の文化祭は創立八十周年と重なると共に、文化会各部の充実により、参加団体五十一に及ぶ盛況であつた。十二月、前年同期着工以来、各方面からその完成を待たれていた大学講堂が落成し、初代総理にちなんでタッカーホールと名付けられた。十八日には八十周年記念祝賀典と大学院、講堂の落成を祝い、全学生にお菓子、絵ハガキなどの記念品が配布された。

立教生と縁の深い街、池袋も日に日に発展を遂げ、コーヒーショップの増加が著しく、朝からコーヒーを飲みながら音楽を聴いている学生が見られるようになつた。

なお、本年の学生運動の中心であつた学生選挙権問題が世論の力により学生側に勝訴の断が下されたことは重大な意義を持つだろう。

三十年度から、英文科一年の四クラスに初めてコミユニケーションの講座が開かれた。これは、乱れた国語の知識をなおす目的で作られたのである。六月に入つて、二年前より噂のあつた綜合グランドが具体案として纒まつた。これによれば野球場を初め、あらゆる種類のグランドが備えられ、緑の芝生と樹木で都民の娯楽場ともなるものである。板橋区と練馬区の両区にわたる五万坪もの広大な場所で、総工費は千五百万円にのぼるもので、その鍬入式が十一月三日文化の日を選んで盛大に行われた。

この年の最大のニュースは松下総長就任のニュースである。夏休み中に受けとつた新総長就任の報は学内、学外に意外の感を与えた。松下氏の選任は学内の「佐々木総長三選」という予想を見事に裏切るものであつた。

校庭の片隅に瀟洒な花壇に包まれた日時計がお目見得したのが六月。マンボの流行により、学生の派手な服装が問題となつたのもこの頃である。

これと前後して、世間の注目を集めた事件は、所謂野球部の〃御家騒動〃である。砂押監督のスパルタ式練習法に対する一部部員の抵抗が表面化したもので、数ケ月に亘る騒動の結果、砂押氏の辞任、中川軍雄教授の部長就任、集団コーチ制の採用となつて治まつた。その秋のリーグ戦には、早大と優勝を争つて惜しくも二位となつた。その直後、辻氏が監督に就任した。

十一月三日、文化祭の前後には、女子学生会主催でフオーク・ダンスが開かれ、ファイヤーを囲んで踊つた学生約五百名、松下新総長も加わるという微笑ましい風景も見られた。

同じ月、予期しなかつた朗報は、米聖公会から本学への原子炉寄贈が有望というニュース。即ち原子力平和利用方法の一端として米聖公会が極東地方のいずれかの地に原子炉を寄贈しようとする試みが計画され、同会所属の本邦唯一の大学である本学が一躍クローズアップされてきたのである。この秋米アルゴンヌ国立原子力研究所理事ボフード博士がこの件で来日、本学の視察を行い、実現性は充分と答えている。三十一年春松下総長はこれに関して渡米する予定でいる。

一方、十二月の末に至り、かねて開設を申請中であつた日本文学科が正式に認可された。日本の近代文学研究には、比較文学の研究方法を採り入れるなど特色あるもので、池田亀鑑氏ほか各分野の最高権威が新任したのである。

明けて、三十一年バスケツトは六度目の全日本の優勝を獲得し、黄金時代を築いた杉山、紺野らが卒業した。

その他、四年越の懸案、ゼミナール連合と女子学生会が発会し、今後の活躍に希望が持たれている。

三月二十日、卒業生一一七六名を送る卒業式がタツカーホールで盛大に行われた。

### おことわり

本号は卒業生特集号でありますので、一枚随想、赤外線、サークルめぐりを休ませていただきます。

Olympic
クラス会・同窓会は
思い出に
オリンピック
銀座本店・銀座二丁目　電(56)代6564
銀座支店・銀座五丁目　電(57)代1497
新宿支店・新宿角筈　電(36)代3206

〃アサヒビールはあなたのビールです〃
うたごえ運動

東宝
番組御紹介
3月20日—3月27日
続へそくり社長
漫才長屋は大騒ぎ
3月28日—4月3日
愛情の決算
明治キヤラメル御愛用者御優待週間(20—27日まで)
★早朝の御客様100名様に明治カルミン1ケづつ進呈致します★
★学生証及び明治キヤラメル空箱御持参者の方には100円のところ55円にて御優待申し上げます★
池袋西口東横デパート前
シネマ東宝　(97)9733 1732

15—19
チャタレイ夫人の恋人
その顔をかせ
20—26
ミスター・ロバーツ
08/15
27—4/2
洪水の前
愛情は深い海の如く
3—9
われら巴里っ子
マーティ
池袋東口　文士経営　人世坐　(97)3348・6843

池袋東口・文士経営のシネマスコープ封切館
文藝坐　三月二十日開館
都内に誇る最高の設備・最良の雰囲気
落成披露記念番組　夢去りぬ・拾つた女

都内唯一の優秀邦画と名作短編上映　40円均一

| | | |
|---|---|---|
| 3/20—24 | 足摺岬 | 浅間山 |
| 25—29 | 美女と怪童 | 室町美術 |
| 30—4/3 | 月夜の傘 | 新風土記 北陸 |
| 4—10 | 風船 | 神通峡を拓く |
| 11—17 | 新平家物語 | 短編未定 |
| 18—24 | ビルマの竪琴 | 短編未定 |

池袋東口　日勝館裏通り　文藝地下　(97)9888

図書出版
活版印刷及び謄写印刷
(正確・迅速・廉価)
株式会社　表現社
代表取締役　鎗田秀夫
営業所
東京都板橋区板橋町10の二八六七
電話　板橋(96)四二三六
振替　東京六五〇二四

5階食堂の奉仕品
味のよい　カレーライス50円
暖かい　ラーメン30円
池袋　東横
営業時間10時30分→6時

第8回　電通　学生広告論文　懸賞募集
後援　文部省
社会構造の差異に伴う広告の役割とその将来
第1部課題・大学学生(除く大学院)400字詰20枚以内
よい広告とわるい広告
第2部課題・高校生徒400字詰10枚以内
表彰　昭和31年7月1日に表彰式を行う
文部大臣賞及記念副賞　第一部・第二部の第一位に贈る
第一部　一位(一名)賞状、副賞　高級腕時計一個　書籍購入券(参万円)
二位(一名)　同　同(弐万円)
三位(一名)　同　同(壱万円)
第二部　一位(一名)賞状、副賞高級腕時計一個
二位(一名)　同
三位(一名)　同
第二部入賞者在籍学校に対し記念図書(一校に付金参万円相当)
選外佳作賞第一部、第二部共若干名
〆切　昭和31年4月30日
発表　昭和31年6月末日　本人に直接通知すると共に六月末本社発行の「電通報」紙上に掲載する
送り先　東京都中央区銀座西七ノ一　(両部とも30年度卒業生を含む)在学証明書添付のこと
株式会社　電通　総務局学生広告論文懸賞募集係宛

一流大学に多数の合格者を送つた廿余年の実績を誇る
正修の大学受験科
第一学期　申込受付中
東大受験科・一橋大受験科・総合受験科・早慶受験科　英語、数学、国語、理科、社会　答案演習、模擬試験、受験相談
▼専属寄宿舎施設完備▲
予備校の講義が自宅で聞ける
正修の通信添削
基本講座　申込受付中
英語科、解析I科、解析II科、国語科　月二回添削指導、予備校のテキストとその解説誌、受験雑誌、模試問題など毎月送付
内容紹介ハガキ請求(立教大新聞でみた記)
東京都千代田区駿河台2の3　国電地下鉄お茶の水下車西3分
東京都認可　国鉄指定校　正修英語学校　電東京(29)2980-1　振替東京144069番

丸善アテナインキ
美しく字が書け……
書いた字が永久に消えない
30円
50円
ATHENA INK
●全国有名文具店にあります